

ボランティアセンターだより

鴻巣市社会福祉協議会ボランティアセンター

TEL 597-2100

第263号

社協 HP は
こちら

鴻巣市箕田4211-1 鴻巣市総合福祉センター内 FAX 597-2102 令和 7年11月発行

いつでも・どこでも・誰でも
そして楽しく



夏のボランティア体験プログラム 2025 開幕！

「夏ボラ」は毎年夏休みの期間を利用し、市内の小・中学生等を中心にボランティアをはじめのきっかけづくりとして開催しています。

今年からスマートフォンアプリ「JoyEvent」を導入し、24時間どこにいても申込みが可能となりました。また、新型コロナウイルスが流行して以降中止していた高齢者施設や児童施設の体験プログラムも再開となり、例年と比較して参加者の人数も増え、多くの方がボランティア体験する機会となりました。全45プログラムの中から、今回は社協企画の3つをご報告します！

聴導犬のお仕事を知ろう！

介助犬の一種である「聴導犬」について学びました。聴覚障がいの方を支えるお仕事の内容や聴導犬になるまでの訓練や流れを教わりました。また、PR犬のひまわりちゃんによるデモンストレーションも行われ、貴重な体験ができました。



Let's try ボッチャ！

火の玉ジャパンの強化選手として活躍する唐司あみ選手と、株式会社 CAC Holdings のボッチャ支援事務局の方を講師として招き、ボッチャについて学習、一緒にボッチャをプレイしました。



オレンジカフェで夏祭り

今年はオレンジカフェとコラボし、夏祭りを開催しました。オレンジカフェは、認知症の方やそのご家族、地域の方など、どなたでも気軽に参加できる集いの場です。

夏祭り企画として、「安木節どじょうすくい踊り」・「南京玉すだれ」のパフォーマンスの披露、また、カーレットなどのレクコーナーを設け、楽しい交流の時間となりました。学生からは「普段話す機会がない高齢の方と楽しく話せた。これからは地域の方とも積極的に話したい」との感想が挙げられました。



第40回社協ふれあい広場開催しました！

令和7年10月5日(日)、川里農業研修センター・川里中央公園にて今年も「社協ふれあい広場」を開催しおよそ800名の方が来場されました。今年は社協のヒーロー「ふれあいマン」に加えて、鴻巣市のメインキャラクターである「ひなちゃん」も参加し、来場者と交流しました。

当日は、お子さんからご高齢の方まで、世代を問わず来場された皆さんが参加ボランティア団体と交流する機会となり、今年のふれあい広場のテーマである「みんなの声が力になる！」の通りに活動団体のこれからの活力となりました！



【消臭袋作りで来場者とふれあい】



【ガラポンくじ会場で記念写真】



【ステージ発表での演奏】



【手話で団体と来場者が交流】



【真剣にポッチャをトライ】



【ありがとうの気持ちを伝える】

小学校の福祉教育と企業の社会貢献事業の連携を訪問取材！

先日、田間宮小学校で3・4年生を対象に、あいおいニッセイ同和損保様の社会貢献事業～夢と豊かな心をはぐくむ講演会～が行われ、その様子を見学させていただきました。

講師には、あいおいニッセイ同和損保のパラ水泳メダリスト、荻原虎太郎選手が招かれ、「みんなちがって みんないい！」をテーマにパラ水泳やパラ水泳選手としてのご経験を通じた様々な想いをお話しされました。

講演を聴いた児童からは、「なぜ、パラ水泳を選んだのですか」「分かち合えたと感じたことはありますか」「やめたいと思ったことはありますか」などの質問が挙げられ、荻原選手は大会の場面や当時の気持ちを思い返しながら答えていました。



掲載内容やボランティアに関するご相談は、
ボランティアセンターまでお気軽にご相談ください。

鴻巣市社会福祉協議会（ボランティアセンター）

TEL：048-597-2100 FAX：048-597-2102

<http://kouosu-syakyo.or.jp>